

団体名	全国ギャンブル依存症家族の会千葉
エリア	千葉県
事業・活動名	ギャンブル依存症者の家族の支援及び依存症に関する勉強会(毎月1回開催)
事業内容	全国ギャンブル依存症の会千葉 「ギャンブル依存症問題啓発週間 特別セミナー」
助成金の使途	特別セミナーを開催する為、そのセミナーにかかる費用 会場費、講師料、保育委託料、印刷製本費、通信運搬費、事務用品、雑費
訪問レポート	【助成金を使ったセミナー概要】 2025年5月24日、千葉市生涯学習センターにて「ギャンブル等依存症啓発特別セミナー」を開催し、197名が参加しました。参加者は20代～70代まで幅広く、託児は11名の利用がありました。セミナーは、ギャンブル依存症に関する正しい知識と理解を広めることを目的とし、助成金を活用して実施されました。セミナーは、依存症専門医による病気としてのギャンブル依存症の解説、当事者・家族の体験談、最新トピック(オンラインカジノ、広告規制、法整備など)について行われました。 【講演会参加者の声】(一部抜粋) ・登壇されたご夫婦の体験から、この病は適切な治療と対応を知り、間違った対応をやめ、回復のための正しい行動を続けていくこと、また同じ病から回復を続ける仲間を信じ仲間のサポートと共にお互いが回復出来るのだ!という「希望」を感じられた。 ・ご夫婦が共に回復に向かって歩み続ける日常の中に、お互いへの感謝と協力があり、様々な思いを乗り越え共に成長し回復へ向かおうと奮闘している姿に感動した。 ・今年のトピックからは、ギャンブル依存症における国の対応策が急務であることや、ここ数年のうちに急速に深刻化していること、またこの病で苦しんでいる当事者や家族が急激に増えていることがわかった。 【主催者の感想】 家族や当事者に加え多くの議員や行政関係者が参加し、医師による講演や実体験の共有を通じてギャンブル依存症への理解が深まり、特に若者への啓発の重要性を感じる中で、支援の輪が広がることを強く願う機会となりました。 【感想】 今回のセミナーでは、脳の仕組みを正しく知ること、依存症の治療は「意思の強さ」や「根性」ではなく、自助グループの力が大きいことを広く伝えることができたようです。当事者やご家族が前向きな気持ちで支援を受けられるような社会に向けて、一歩踏み出せたのではないかと感じています。参加された皆さんの真剣な感想や、主催者の熱い想いが印象に残り、ギャンブル依存症が「本人の問題」ではなく「社会全体で考えるべき課題」として認識され始めていることを実感しました。今後も、こうした取り組みが続いていくこと、そして支援の輪がもっと広がっていくことを心から願っています。
ホームページ	https://gdfam.org/group/chiba/

